

目 次

まえがき

家庭学習の進め方

各教科の学習方法

国語科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

社会科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

数学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

理科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1

音楽科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 5

美術科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 7

保健体育科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 9

技術・家庭科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 0

英語科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 1

ま え が き

荒牧中学校では、学校方針として、みなさんの学力向上を重点目標にあげています。

平成25年度4月に実施された学力調査の結果から、本校生徒は学習に対してさらに努力が必要であることもわかりました。また平成26年度から公立高等学校の入試制度も大きく変わり、行きたい高校へ進学するためには、今まで以上に確かな学力をつけなければならなくなったということです。

学力向上のために、授業をしっかりと受けることはもちろんのことですが、さらに家庭での学習もとても重要となります。しかし、平成20年度実施した学力調査の意識調査結果からは、「休みの日に家で勉強をほとんどしない人」「1時間より少ない人」が60%近くもいることがわかりました。また、保護者の方からは、「家でどんな学習をしたらいいかわからないよだから子どもに教えてやってほしい」というような声を聞きます。そこで、みなさんの学習に役立ててもらいたいと思い、まとめたのがこの「家庭学習の手引き」です。

最初に言いたいことは、学習にはムダ・ムリ・ムラがあっては、効果がないということです。テレビをつけたり、音楽を聴きながらの勉強は時間のムダでしょう。また、いつも読むだけしかしない勉強法もムダな学習になるでしょう。そして、積み重ねを大切にしなければならない数学や英語などの教科は、自分がわかるところから始めなければ、ムリな学習です。さらに、学習というのは毎日少しずつ続けていくことが大切です。ある時だけがむしやにやっても効果がありません。「一夜漬けではだめだ」と言われるのはムラのある学習になっているからです。

しかしながら、学習の基本を守ってやったとしても、昔から「学問に王道なし」といわれるように、これが一番能率的で効果的な学習方法だということはありません。学習は安易なやり方で能率があがるものではありません。

要するに、「継続は力なり」の言葉どおり、どんな小さなことでも少しずつ継続してやっていくことが大きな力となります。山道を登るように、一步一步コツコツと辛抱強く積み重ねることが大切です。そこには自己との厳しいたたかいがあります。自分の、怠けたいという心に打ち勝ち、自分を高めようという気力に燃え頑張りましょう。意欲的にやり出して効果があがってくると、さらに学習にはずみがつくでしょう。だんだんよい方向へと循環してくるでしょう。みなさんの努力に期待します。この冊子では、各教科の先生がみなさんに必要な家庭学習の方法を紹介してくれています。この冊子を参考にしながら、自分に合った学習方法を見つけ、効果的な学習をし、家庭での時間を大切に過ごしてください。

家庭学習の進め方

(1) 家庭学習の進め方

①〔予習・復習〕

学校での学習をより理解するための学習です。例えば、こんな学習は・・・？

予習で くじらは魚類だと考えた。海の中で他の魚たちと一緒に生活しているからだ。

授業で くじらはほ乳類だとわかった！

復習で なぜ間違っただろう？（外見だけで判断したからだ）
これ以外にもこのような例はないだろうか？

などのように、自分なりに予習で推論し、授業の中で検証をする。そして自分の考え方をもう一度振り返ってみる点検をしてみましょう。学習が深まります。

②〔宿題〕

宿題は何のためにやるのでしょうか？先生たちは宿題一つにしてもよく考えて出しています。予習に役立つ宿題、復習に役立つ宿題、テスト勉強に役立つ宿題、など様々な宿題が出されています。「提出しないと怒られるから」ではなく、自分の勉強のために、学力アップに役立てるために宿題をやりましょう。

③〔学習時間〕

「○時間したら大丈夫」などというものはありません。みなさんにはやりたいこと、しなければならないことがたくさんあるでしょう。だからこそ能率良く時間を有効に使って学習するようにしましょう。能率よくやるためには「～ながら族」ではだめです。

④〔課題を決めて取り組み〕

いろんな科目の中で、自分の好きなもの、あるいは不得意なものを取り上げて、コツコツと学習しよう。得意なものはさらに好きになり、不得意なものは少しでも克服できるでしょう。

(2)さらに発展学習を！

家庭学習といっても「予習・復習」ばかりではありません。広い意味での「学習」を考えてみることも大切です。

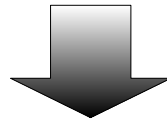
① 読書に取り組もう

② 毎日新聞に目を通そう

本や新聞の活字を見ると頭が痛くなるという人も多いはず。テレビのように映像がないから仕方がない。でも、読書を通して、生き方や考え方を知ることができたり、社会に関心を持つことができる大切なツールです。はじめはしんどいかもしれないけど、頑張って取り組んでみよう。

③ ○○博士になろう

「そのことだったら、私に聞いてくれ」というものがあったら楽しい。例えば、たくさんの本を読んだ人は、友だちに本紹介をしてあげられる「本博士」。昆虫のことならまかせておけ！なんて人は「虫博士」。あなたは何の博士になれるかな？



1 自分の関心のある部分から

2 少しずつでも

3 ゆっくりでも

4 習慣化し

5 両親や友人との話題に取り入れていく